

## ソーシャル PM 実践ワークショップ<sup>®</sup> 2019 第 3 回 「SDGs 達成を目指した CSV（共有価値）の取り組み」実施報告

ソーシャル PM 研究会は社会課題の解決（ソーシャル・プロジェクト）を目的とするマネジメント手法の開発と普及に取り組んでいます。2019 年は 3 回の「ソーシャル PM 実践ワークショップ」を企画し、第 3 回目として「SDGs 達成を目指した CSV（共有価値）の取り組み」を下記の通り開催しました。

- ◆開催日時：2019 年 6 月 8 日（土）9 時 30 分～17 時 30 分
- ◆会場：PMI 日本支部セミナールーム（水天宮前）

今回のワークショップは、経済価値と社会価値を両立させる企業活動目標が、持続可能な社会に貢献するあるいはつながりを持つことを目的に、「どのように進めればよいか？」「何をすべきか？」「どんな良いことがあるか？」「どのように評価するか？」などについて当研究会の手法を参加者に体験してもらうものでした。午前中は講義、午後は仮想企業の「新規事業の立ち上げ」と「既存事業の見直し」に適用する演習課題をグループで討議しました。

午前は稲葉講師より以下の講義でした。

- 1) SDGs と CSV の概要につき、我が国および企業が取り組むべき状況を紹介。
- 2) ロジックモデルとベネフィットリスト  
ロジックモデルは活動が現実に実行可能か、因果関係を評価する。活動内容・中長期アウトカムを設定し、ミッション・ビジョンを再確認し、ベネフィットリストでベネフィットの妥当性を検証する。
- 3) 目標の設定と指標  
ポートフォリオ評価技法を用いて、複数の活動へのリソース配分の定義と評価
- 4) CSV 実行とリーンスタートアップ  
新規ビジネスモデルを素早く検証し修正するために、リーンキャンバスを用いて検証し、MVP（最小限の製品・サービス）を用い、ピボットによりビジネスモデルの修正すべき点を気づき軌道修正すること。
- 5) 報告とコミュニケーション  
各々、経済価値と社会価値を共有する企業活動における標準的な作業規定ないしガイドラインの一助となる先進的なプロジェクトマネジメント方法論の紹介

午後の演習前半は、大久保講師により『メーカー系リース会社の総務部長さんの「新規事業（人材派遣会社の立ち上げ）」』をテーマに行いました。

- 1) 現行ビジネスにおける問題点の抽出、課題の策定
- 2) 新規事業の策定
- 3) ロジックモデルによる新規事業のアウトプット、アウトカムおよびミッション・ビジョンとの整合性確認
- 4) ベネフィットリスト、リーンキャンバスによる新規事業のベネフィット、実現可能性の確認

既存ロジックモデル・既存ビジネスモデルをインプットに新規事業のロジックモデルを追加し、短期ベネフィットリストとリーンキャンバスを作成、ベネフィットの実現性の説明などをグループで作成・発表し、ロジックモデルからリーンキャンバス、ベネフィットリストへの流れを理解しました。

午後の演習後半は、前半の『新規事業による既存事業の改善』が期待したほど効果が出ていないという想定で、「既存事業の見直し」を演習課題として

- 1) 新規事業の問題点と見直しによる課題抽出
- 2) 課題の解決法の策定、そのアウトプット想定
- 3) アウトプットの想定からベネフィットの確認

ベネフィットリスト・リーンキャンバス・ロジックモデルを修正し、SDGs 目標 8「ディーセントワーク」のつながりとCSVの指標（経済価値・社会価値）などについて整理し、グループで検討して結果発表と質疑応答を行いました。



グループごとの発表では同一テーマであっても、いろいろな考え方や視点の多様性があることをあらためて感じました。最終結果がまとまったグループもあれば議論俾仲して最終ゴールまで到達できなかったグループもありましたが、手法を理解しプロセスを学んでいただくことに非常に有意義なワークショップでした。

最後に、今回の研究成果をご理解いただき、熱心な議論をしていただいたワークショップの参加者の方々ならびにワークショップの準備に奔走された方々に感謝するとともに、今後のソーシャルPM研究活動のさらなる推進に是非ともご協力お願い申し上げます。

ソーシャルPM研究会 普及活動 WG 担当